



# 広報ボランティアの カメラレポート

福津市民の取材による福津市内の話題提供

## 楽しい陶芸教室



中央公民館の陶芸室では、月3回、陶芸教室が行われています。1年目は、先生に教わりながら課題作を作り、2年目からは各自で作品を作ります。作品が出来上がるまでには、さまざまな工程があり、時間と手間がかかりますが、作品の形や、光沢の出し方など、いろいろなことを考えながら楽しく活動しています。夏休みには親子陶芸教室も開催されるそうです。ぜひ参加してみたいかがでしょうか。

【真鍋光さん】

## 男性のらくらくクッキング教室



主に料理初心者の男性を対象とした料理教室が、5月12日、ふくとぴあで行われました。市食生活改善推進会が主催するこの教室は、栄養価の高い食材を使い、男性でも簡単に料理をすることが目的です。タマネギをプロ並みの速さで細かくみじん切りにする人もいて、とても驚きました。試食の後「次は魚のさばぎ方を学んでみたい」との声もあり、参加者はみんないきいきしていました。

【山本武利さん】

## 運動会前のグラウンド清掃



上西郷小学校で、運動会前の5月14日、校庭の清掃活動が行われました。朝6時30分からの開始にもかかわらず、先生や保護者、子どもたち、地域の人たちなど、多くの人が参加し、主に校庭の除草作業を行いました。運動会の主役である子どもたちも、集めた草を袋に詰めたり、運んだりするなど、一生懸命働いていて、1時間ほどきれいになりました。参加した皆さん、お疲れさまでした。

【福崎信一さん】

## 薬代の自己負担額が減らせます

製薬会社は、新薬（新たに開発される医薬品）の特許が切れた後、厚生労働省の認可

を得ることで、新薬と同じ有効成分、用法、用量で、同じ効能及び効果がある医薬品を

発売できます。これがジェネリック医薬品（後発医薬品）です。

## 知っとく納得! 保険年金医療

市保険年金医療課 ☎43・8127



▲保険証の更新時に「ジェネリック医薬品希望カード」を配布しています

新薬の開発には10年以上の歳月と費用がかかりますが、ジェネリック医薬品の開発期間は3年程度のため、開発費用が抑えられ、新薬と比べて3割以上安い薬もあります。ジェネリック医薬品の選択や使用方法については、医師、薬剤師と相談してください。また治療内容によっては、ジェネリック医薬品が存在しない場合や、適さない場合もあります。

# 環境 掲示板

市うみがめ課 ☎62・5019  
FAX 43・6005 E-mail umigame@city.fukutsu.lg.jp

## 干潟のハマボウ観察会

夏の津屋崎干潟では和製ハイビスカスと呼ばれるハマボウが見事な黄色い花を咲かせます。干潟では他にも貝やカニの仲間など、多くの生き物を身近に観察することが出来ます。専門家の解説や、ハマボウの苗の植樹会も行います。ぜひ参加ください。



▲ハマボウの花

日時 7月16日(日) 午前9時30分～正午 ※少雨決行  
集合時間・場所 午前9時15分～午前9時30分 市役所本館正面玄関前 ※当日は干潟までバスが出ます。  
費用 無料  
持参品 汚れても良い服装、長靴、軍手  
定員 20人程度  
※先着順  
受付期限 7月5日(水)  
受付方法 電話、ファクス、メール  
※ファクス、メールの場合は、送信後に確認の電話をお願いします。

## 地域分別収集の時間を守りましょう

地域分別収集は、皆さんのご協力で成り立っています。時間外にごみを持ち込むと回収できず、そのまま放置され、不法投棄になってしまう可能性があります。必ず時間を守って正しく出しましょう。時間内の持ち込みができません。ときは、公設分別ステーションや、自己搬入（有料）で古賀清掃工場へ持ち込むこともできます。

スプレー缶やカセットコンロなどのボンベ缶の出し方  
古賀清掃工場では4月に軽微な火災が1件発生しました。原因は、使い切れていないスプレー缶やカセットコンロなどのボンベ缶でした。穴を開ける必要はありませんが、会社が倒産している場合や自作パソコンの場合はパソコン3R推進協会へお問い合わせください。  
http://pc3r.jp/home.html  
☎03・5282・7685（回収受付はホームページのみ）

